



～よりよく生きるための基盤となる道徳性を育むために～

道徳教育推進主任 荊山 真由美

道徳的価値「よりよく生きるために必要とされるもの」「人間としての在り方や生き方の礎となるもの」を理解し、道徳性を育むために、学校では、道徳の授業を中心に全教育活動を通じて、道徳教育を実践しています。12月、児童玄関に掲示している「やさしさの木」は児童の優しさを書いたカードで一杯になりました。道徳の授業では、教材の登場人物の気持ちを、役割演技や吹き出しに書くことでじっくり考えることができました。また、意見交流や話し合いを通して、いろいろな見方・考え方に気づき、自分の考えを深めています。「道徳は、生活に大事な学習をしていると思います。」という児童の感想がありました。これからも大事な学習や様々な体験をしながら、感じ、考え、心豊かにたくましく成長してほしいと願っています。

(特別の教科 道徳の授業の様子)

(やさしさの木)



〈2学期の思い出〉

1年生	秋パーティーをしました。ぼくは魚釣りゲームを作りました。2組さんがお客さんでたくさん来てくれたので、うれしかったです。2組さんのおもちゃも、とてもおもしろかったです。
2年生	参観日に、おばあちゃんが来てくれました。町探検の発表をしました。ちょっと緊張したけれど、本番は大成功でした。前は参観日が得意ではなかったけど、今は大好きです。
3年生	「竹名人さんに学ぶ会」をしました。竹名人さんは竹を切るのが上手で、「さすが名人さんだな。」と思いました。優しく教えていただき、きれいな貯金箱ができました。
4年生	湯山に伝わる伝説や歴史について調べて、今まで知らなかったひみつがたくさん見付けました。グループで話し合いながら、劇や紙芝居にして発表できて、楽しかったです。
5年生	2学期は運動会や大洲青少年交流の家、連合音楽会など行事がたくさんありました。一つ一つの行事をみんなと協力しながら全力で頑張ったので、達成感が持てました。
6年生	ぼくの2学期の思い出は、運動会です。小学校生活最後の運動会だったので、練習に励み、仲間との絆が深まりました。優勝もできたので、最高の運動会になりました。
ささのこ	私の2学期の思い出は、干し柿作りです。皮をむくのが難しかったけれど、頑張っていると上手にできるようになってきてうれしかったです。食べたら、おいしかったです。